

# 世界の医療と人々の健康への貢献

## — ミャンマーで「健康な村」づくり活動

中外製薬株式会社  
CSR 推進部社会貢献グループ  
グループマネジャー 加藤正人

### 農村部での保健衛生の改善目指す

中外製薬は企業理念である「世界の医療と人々の健康への貢献」を実践するために、事業活動はもちろんのこと企業市民として積極的に社会貢献活動を展開している。中でも NPO (特定非営利活動) 法人「AMDA 社会開発機構」(以下、AMDA-MINDS = アムダ-マインズ) がミャンマー農村部のミン・マ・ティ村で行う「健康な村」づくり活動は、健康教育を通じて同村の健康のボトムアップにつながると考え、2013 年から応援している。

アジア最後のフロンティアと呼ばれ多くの企業進出や経済発展に注目が集まるミャンマーだが、国連開発計画 (UNDP) が昨年末に公表した『人間開発報告書 2015』によれば、人間開発指数は上昇傾向にあるものの 188 カ国中 148 位と依然として低位グループに属しており、人々の生活が

11 年の民主化以降もあまり改善していないことが分かる。特に投資や開発が集中する都市部と農村部の格差の拡大は深刻で、ミャンマー政府も農村開発および貧困削減を目的とした「国家開発戦略」を 11 年に掲げ、国際援助機関と効果的に連携することで国民の生活向上に取り組む必要性を強調している。

AMDA-MINDS はミャンマーの中央部に位置するパコク郡内の多くの村で保健衛生状況の改善を目指し、村のみんなが心も身体も健康に暮らせる「健康な村」づくりプロジェクトを 10 年から実施している。同地はミャンマーの中で「中央乾燥地帯 (Central Dry Zone)」と呼ばれ、年間降雨量が 700mm 程度しかない乾燥した厳しい自然環境にさらされている。住民の多くは農業に携わって暮らしているが、<sup>かんがい</sup>灌漑設備が不十分なため<sup>てんすい</sup>天水農法に頼っている。そのため収穫が天候によって大きく左右され、経済的に厳しい状況に置

ミン・マ・ティ村の日常の風景



かれているのが現状である。保健・医療面においては、乾燥した気候や水不足に起因する疾病である急性呼吸器感染症、下痢、赤痢などが多く見られることから、ミャンマー政府により特別開発地域として定められてもいる。

## 何事も住民自身が考え自ら行動

当社が AMDA-MINDS を通じて支援に参加したミン・マ・ティ村は、大きな病院のあるパコク郡の中心地からは遠く離れた場所にある。こうした状況で何より大切なのは、何事も住民自身が考え、自ら行動していけるようになることだ。そこでまずは AMDA-MINDS「健康な村づくり委員会」を組織、各委員が村人へ病気の予防方法やけがの応急処置方法を伝えるほか、助産師が村々を巡回して子どもたちに予防接種を行うことを手伝えるなどの活動に取り組んだ。こうした中で、委員たちはみんながいつでも自由に集まることのできる場所をつくりたいと思うようになったという。なぜならそれまでは子ども、妊産婦への予防接種や委員が自分で学んだことを住民に伝える保健教育を行う際、屋外でビニールシートをかぶせただけの場所に集まってもらったり、離れた場所にある僧院を使わせてもらったりしていたからである。屋外では活動が天候に左右されてしまう上、僧院は離れていて人が集まりにくいという難点があった。

「健康な村」づくり活動を推進するため、村人は自分たちで建設費の一部を負担してでもコミュニティセンターを建てることを決めた。当社はこの村人の思いに応えるべく、コミュニティセンターの建設を支援することにした。委員を中心とした村人たちは、全体計画の策定から資材の調達、建設作業に至るまでの全過程に主体的に取り組んだ。総建設費用の3割を自ら負担、約5カ月間をかけて15年2月1日、コミュニティセンターはついに完成した。これで最寄りの診療所スタッフによる巡回医療サービスを受け入れる場所ができ、子どもや妊産婦への予防接種や保健教育、啓発活動などを通じて疾病予防や村の人たちみんなの健康増進に寄与することができるようになった。

## 「作って終わり」にしないために

さらに国際協力で大切なことは、「作って終わり」にしないということだ。村人は、AMDA-MINDS と相談し、このコミュニティセンターを長く使い続けられるようにするための維持管理に関するルールを決めた。例えば雨漏りのような部分的な傷みについては委員と村長が修繕に責任を持つこと、災害などで建物が大きく傷んだ場合に備えて基金を立ち上げること、などが決められ今もきちんと守られている。

村人たちは強い責任感と献身をもってプロジェクトに取り組んだことで建設の知識・技術を身に付けただけでなく、自信と誇りを得ることができた。コミュニティセンターはその証しとして村の中心に立ち、さまざまな会合はもちろん健康について学ぶ保健教育や子どもたちへの予防接種などに利用され、病院で医療サービスを受ける機会が限られている村人の健康増進に役立っている。



コミュニティセンターでの委員会の会合

このように当社が支援したコミュニティセンターの建設は、企業理念である「世界の医療と人々の健康への貢献」をミン・マ・ティ村で実践した例だといえる。当社は今後もこのような活動を通して人々の健康に貢献していきたいと考えている。

\* 中外製薬の社会貢献活動の取り組みは、  
Twitter 公式アカウントでも配信中  
[https://twitter.com/chugai\\_cc](https://twitter.com/chugai_cc)  
ID : @chugai\_cc